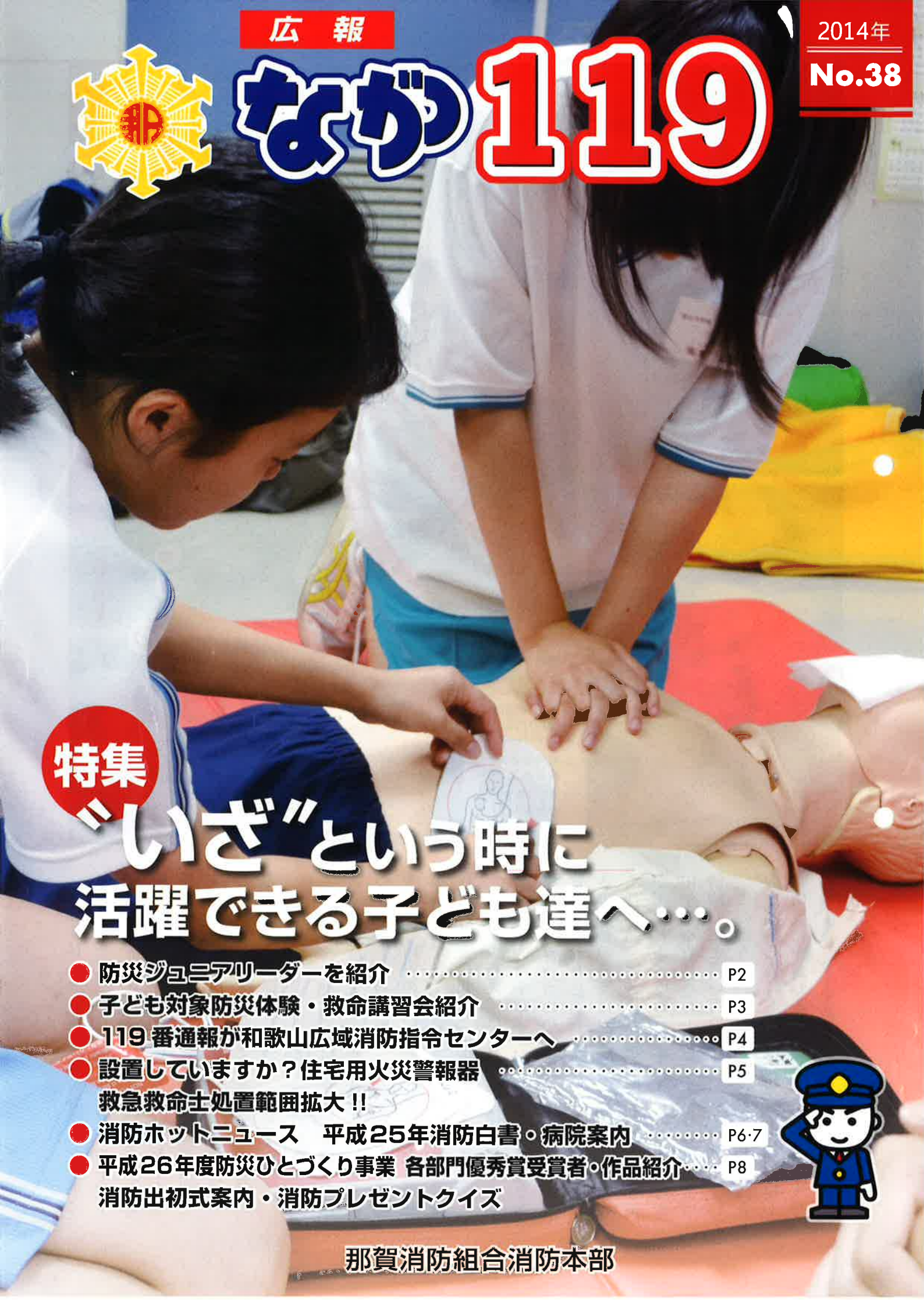




ながの 119



特集

“いざ”という時に活躍できる子ども達へ……

- 防災ジュニアリーダーを紹介 P2
- 子ども対象防災体験・救命講習会紹介 P3
- 119番通報が和歌山広域消防指令センターへ P4
- 設置していますか？住宅用火災警報器 P5
救急救命士処置範囲拡大！！
- 消防ホットニュース 平成25年消防白書・病院案内 P6・7
- 平成26年度防災ひとづくり事業 各部門優秀賞受賞者・作品紹介 P8
消防出初式案内・消防プレゼントクイズ



いざという時に活躍できる

子どもも達へ...



①

- ① ペットボトルを使った着衣泳
- ② クーラーボックスやボールを使った着衣泳(紀の川市ジュニアリーダー)
- ③ 普通救命講習会受講風景
- ④ AEDを使った心肺蘇生法の実技(岩出市ジュニアリーダー)



③



②



④

8月5日(火)那賀B&G海洋センターにおいて、紀の川市ジュニアリーダーの中学生19名が着衣泳を体験しました。着衣泳とは服を着たまま呼吸を確保し、救助されるまで浮き続ける自己保全を目的とした対処法です。ペットボトルやボールを使って浮いてみたり、服を利用して浮き具を作り救助を待つ方法などを学びました。

8月6日(水)7日(木)には、岩出市のジュニアリーダー38名が防災体験や普通救命講習会を受講しました。避難体験では、足元にペットボトルや卵のパックで作った障害物を置き、暗室の中で行いました。また普通救命講習会では、AEDを使った心肺蘇生法や救命に必要な知識と技術を学びました。

東日本大震災では、宮城県で津波にのまれそうになった小学生が、訓練で習ったことを実践し、ラッコの姿勢をとって浮き上がり習ったとおりにあわてずにおおむけで背浮きの姿勢のまま浮いて呼吸を確保し、体力の消耗を防いで救助を待ち助かったという例が実際にあったそうです。また、避難所等で中学生や高校生など学生がいろいろな形で活躍したと聞いています。

このようにいろいろな体験を通して防災力を高める為にも、当消防組合では幼児期から防災にかかわる事業を行なっています。今回は、その様子を紹介していきましょう。

おりこう教室・写生会

～年長児からの防災～



防災センターでは、災害に強い安全なまちづくりの推進事業の一環として、幼児期より防災について分かりやすく楽しみながら学んでいただくために、

「防災まもる君の おりこう教室」

を開催しています。地震体験や煙体験、ゲームやダンスをしながら、防災について学びます。

また「防災ひとづくり事業」では消防車・救急車写生画公募を展開し管内の各幼稚園、保育園（所）の年長児を対象に写生会を開催しています。実際に車を見る事で、画用紙いっぱいのだいナミックな絵ができて、毎年すてきな作品が届けられます。

目指せ!! 防災博士

～小学生の体験学習と意見発表会～

6月～10月にかけて小学校4年生を対象とした講座が開催されます。

まずは「防災博士チャレンジ講座」を紹介しましょう。この講座は、管内の小中学校が校外学習の一環として受講され、消防の仕事を学んだり、地震体験や煙の中の避難体験、消防



車両・救助訓練の見学などをします。救助訓練見学では「わあ」と歓声があがり子ども達は目を輝かせて見ていました。



また夏休みに入ると、「防災博士認定講座」を7月末の1週間開催し、毎年約100名の子どもや保護者の方々が受講されます。この講座では、地震のしくみや火災の原因など防災について学習し、防災なます号を使った地震体験や水消火器を使った消火体験なども行います。

8月には第1、第3日曜日に「子ども防災博士応急手当講座」を開催。4年生でもできる応急手当を学びます。

また、「ひとづくり事業」では、小学校6年生を対象に「子ども防災博士意見発表会」を開催しています。防災について思いや考えを発表し、より一層の防火・防災意識を高めることを目的としています。

このように、幼児期から防災について学べる機会をこれからも続け、子ども防災力を高めていきたいと思えます。



119番通報が和歌山広域消防指令センターへ

共同運用します!! ~約55万人の生命と安全を守るため~

平成27年2月18日より、紀の川市、岩出市からの119番通報を和歌山市消防局内に設置する「和歌山広域消防指令センター」で受け付けすることになりました。

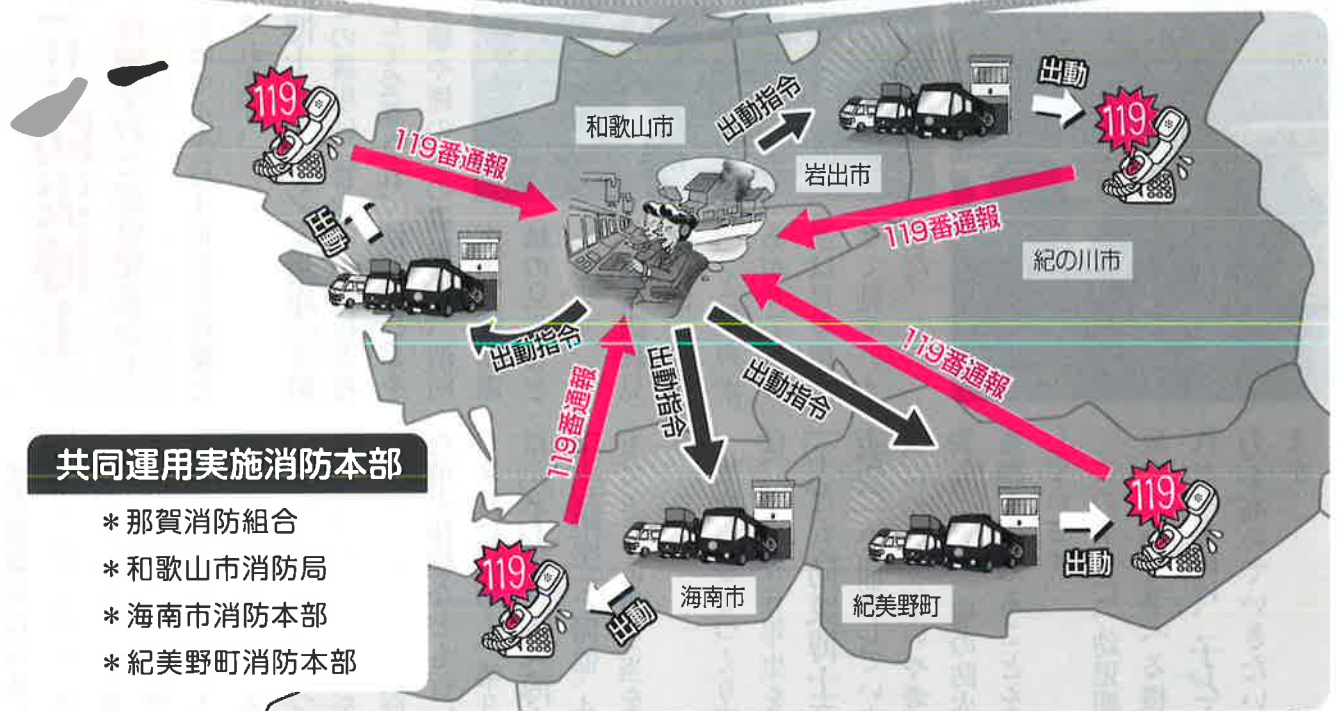
和歌山広域消防指令センターでは那賀消防組合ほか3消防本部（和歌山市、海南市、紀美野町）の消防指令業務（119番通報の受付、消防車や救急車の出動指令及び無線の統制など）を共同で行います。消防指令業務を共同で行うことで、業務の効率化及び各消防本部との連携、情報共有が可能となり市町境で発生した災害などでも素早い対応が図られ、また大規模災害や特殊な災害などに対して適切な出動部隊を選定できるなど、迅速かつ集中的に広域応援体制が期待できます。

なお、4市1町での本格運用は4月1日からになります。



Q.119番通報したらどうなるの？

これまでと同じように管轄の消防署や近くの消防車・救急車が出動します！



共同運用実施消防本部

- * 那賀消防組合
- * 和歌山市消防局
- * 海南市消防本部
- * 紀美野町消防本部

119番通報は
落ちついて正確に！



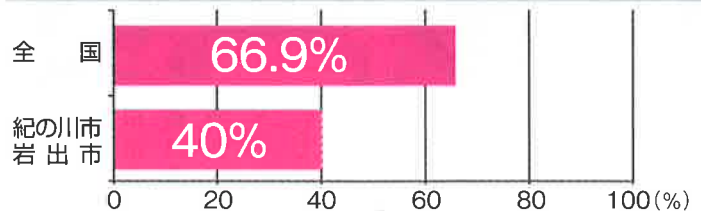
119番通報のポイント（例）火事の場合

はい119番です。 火事ですか？救急ですか？	「火事」です。
場所はどこですか？	〇〇市〇〇△△番地の□□さんの家が火事です。目標物は〇〇です。
何が燃えていますか？ 逃げ遅れ者やけが人はいますか？	台所が燃えています。 逃げ遅れ者はいません。
あなたのお名前と電話番号は？	私は〇〇です。電話番号は〇〇です。

設置していますか？住宅用火災警報器！！

平成18年6月1日から住宅用火災警報器（以下、「住警器」という。）の設置義務化に伴い、当消防組合では設置普及促進活動を実施し、アンケート等による設置率の調査を行っています。

住宅用火災警報器設置率(条例適合)



設置義務となる**寝室、階段（2階以上に寝室がある場合）全て**に住警器が設置されている住宅は、全国平均66.9%に対して、紀の川市・岩出市の個別調査（4自治区）結果では、40%未満と少ない数字となっています。

（住警器を全く設置していない世帯、一部のみ設置している世帯が数多くあります。）



平成25年中、全国の建物火災における死者は1,254人で、そのうち住宅（一般住宅、共同住宅等）火災における死者は1,100人であり、住宅火災でお亡くなりになる高齢者の割合が7割以上を占めています。

紀の川市・岩出市においても高齢者の居住割合が高く住警器を設置して早期に火災を覚知・発見し、火災から命を守るため今後も設置促進に向けて、積極的に設置促進活動を進めてまいりますので市民の皆様にもご理解ご協力をよろしくお願いします。



救急救命士が実施できる処置が拡がりました！

平成26年4月1日に法律が改正され、医師の指示により救急救命士が行える処置の範囲が拡大されました。

① 血糖値測定と低血糖発作状態へブドウ糖溶液の投与

低血糖で意識状態が悪くなっている可能性がある方に対して血糖値測定を行い低血糖が確認された場合にはブドウ糖溶液を投与します。

※年齢が15歳以上（推定含む）で、血糖値が50mg/dl未満の方が対象です。

② 心肺機能停止前の傷病者に対するの輸液

大量出血や熱中症などが原因で血圧低下し心臓が停止する危険性のあるショック状態の方に点滴をして症状の悪化を防ぎます。

※15歳以上（推定含む）の方が対象です。



消防ニュース

★旧南消防署を利用した警防技術向上訓練実施!!



7月22日(火)、23日(水)、8月14日(木)の3日間、猛暑の中、紀の川市桃山町調月にある南消防署旧庁舎で警防技術向上訓練を実施しました。木造平屋建て住宅の台所から出火し逃げ遅れ者があるとの想定で、消防自動車2台による消火・救助・救出訓練などを実施しました。また、中消防署に配備されている圧縮空気消防装置(CAFS)を積載した消防自動車も参加し、泡による消火活動も行いました。

★紀の川市・岩出市役所新人研修



4月7日(月)～25日(金)までの3週間、紀の川市と岩出市の新規採用職員を対象に研修が那賀消防組合で行われました。この研修は、公務員としての基礎知識や規律技能の習得、体力の錬成を図ることを目的としています。新規採用職員18名が規律訓練や山林健脚訓練を行ったり、普通救命講習などを受講しました。また公務員倫理や消防法などを学び、今は各市役所で活躍しています。

★予防技術資格者認定交付式



8月27日(水)予防技術資格者の認定交付式を実施しました。予防技術資格者とは、予防業務の専門化・高度化に伴い、予防事務を的確に行なうために、火災の予防に関する高度な知識及び技術を有する者で、全国の消防機関でこの認定制度が創設されています。予防査察専門員20名、消防設備等専門員6名、危険物専門員2名が消防長から認定を受けました。今後高度予防専門知識と技術を活用して火災予防業務に的確に対応していくことが期待されます。

火災のよこす

平成25年中の紀の川市、岩出市で発生した火災は27件で、2人の死者と4人の負傷者が発生し、火災損害額は3,885.6万円でした。

これを前年と比較すると火災は2件の減少で損害額は1億3,234.8万円の減少となっております。火災種別では建物火災が14件と最も多く、車両火災は7件、その他火災が6件となっております。

消防白書

統計上の火災件数は27件ですが、ひとつ間違えば火災となる軽微な災害への出動が145件ありました。

次に出火率は(人口1万人当たりの出火件数)は2.25件で全国平均の3.74件に比べ約1.5ポイント少なくなっています。

なお、今年9月までの火災件数は17件で、前年同時期より4件減少しています。

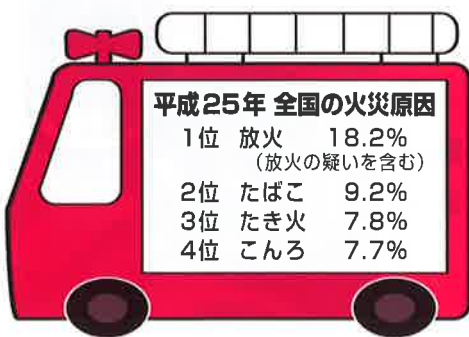
平成25年 火災出動件数

		紀の川市	岩出市	合計
建物	件数	7件	7件	14件
	焼損面積	325㎡	125㎡	450㎡
車輛	件数	4件	3件	7件
	焼損車輛	8台	3台	11台
その他	件数	6件	0件	6件
	焼損面積	10,263㎡	0㎡	10,263㎡
計	件数	17件	10件	27件
	損害金額	2,996.2万円	889.4万円	3,885.6万円

平成25年 全国の火災原因

- 1位 放火 18.2% (放火の疑いを含む)
- 2位 たばこ 9.2%
- 3位 たき火 7.8%
- 4位 こんろ 7.7%

これからの季節、火を取り扱う機会が多くなると思いますが、火の元には十分な注意をお願いします。



★CAFS付新型消防車導入!



3月31日(月)に新しい消防ポンプ自動車を導入されました。

水に少量の消火剤を加え、そこに圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置を圧縮空気消火装置(CAFS)と言います。

この新型消防車は、この装置が搭載されています。水の表面積を広げることで効率よく消火することができ、今までどおりの活動は当然のことながらこれに加えて、水が不足しがちな高速道路やトンネル、林野等での火災、また地震等の災害時にも活躍が期待できます。

★自衛消防隊の消防操法大会開催



10月24日(金)紀の川市花野の打田わかもの広場において「第13回那賀消防管理協議会消防操法大会」が消防組合と共催のもと実施されました。那賀管内の88事業所で構成されている那賀防火管理協議会では、今年度47チームの自衛消防隊が参加し、屋内消火栓操法(1号消火栓、2号消火栓)、屋外消火栓操法消火器操法が行なわれ日頃の積み重ねてきた訓練成果を発揮されました。

10月24日(金)紀の川市花野の打田わかもの広場において「第13回那賀消防管理協議会消防操法大会」が消防組合と共催のもと実施されました。那賀管内の88事業所で構成されている那賀防火管理協議会では、今年度47チームの自衛消防隊が参加し、屋内消火栓操法(1号消火栓、2号消火栓)、屋外消火栓操法消火器操法が行なわれ日頃の積み重ねてきた訓練成果を発揮されました。



[写真] 左から諏訪原、後藤、西川

★那賀消防組合 ニューフェイス3人誕生!!

平成25年度採用の新職員3名が、消防学校での6カ月間の訓練を終了し現場勤務につきました。その熱き思いを紹介します。

★西川 大稀

一人でも多くの人を救える消防士になります。

★後藤 慎也

住民の方々に安心を与えられる消防士を目指します。

★諏訪原 弘志

皆様が安心・安全に過ごせるよう頑張ります。

救急・救助のようす

平成25年中の救急出動件数は4,834件で、過去10年間で最多となり、前年に比べ34件増加し、1日平均13・2件の出動となりました。紀の川市及び岩出市の市民26人に1人が搬送されたこととなります。

次に、重傷者を搬送するドクターヘリの要請件数は39件で前年に比べ6件の増加となりました。

また、救助出動件数は81件で前年と比較して3件増加し救出者数は60人でした。

	紀の川市	岩出市	管外	合計
救急出動件数				
急病	1,808	1,237	0	3,045
交通事故	296	307	1	604
一般負傷	370	222	1	593
その他	380	212	0	592
合計	2,854	1,978	2	4,834
救助出動件数				
交通事故	22	11	1	34
火災	11	9	0	20
機械事故	0	1	0	1
その他	14	12	0	26
合計	47	33	1	81

病院案内

日曜、休日等の診療が可能な医療機関等を次に記載してありますので切り取ってご利用ください。

▼和歌山県救急医療情報センター

24時間体制で最寄りの医療機関を案内します。

☎073・426・1199

▼那賀休日急患診療所

☎0736・77・6410
日曜日・祝日及び年末年始
診療可

午前9時～午後4時30分

▼和歌山市夜間休日 応急診療センター

☎073・425・8181

休日 午前10時～午後5時
夜間 午後8時～午前6時
ただし、土曜、休日の夜間は午後7時～午前6時

▼子ども救急相談ダイヤル

☎073・431・8000

毎日午後7時～午後11時
専門の看護師が相談に応じます。

▼和歌山市歯科 休日応急診療センター

☎073・426・3558

休日 午前10時～午後5時

※これらの問い合わせは、119番を使用せず、一般加入電話

☎0736・61・1791

(通信指令課) にかけるようお願いいたします。

平成26年度防災ひとづくり事業

「写生画・ポスター・標語・意見発表」優秀賞受賞者

消防車・救急車写生画の部

【最優秀賞】

上岩出保育所 田中 克希



【優秀賞】

八王子保育所 増田 麟太郎
丸柄保育所 秦野 陽樹
和歌山中央幼稚園 田中 日菜乃

子ども防災博士意見発表会の部

【最優秀賞】

根来小学校 朝木 千愛

題名

「自分の命は自分で守る」

【優秀賞】

竜門小学校 山本 遥陽

防火・防災・救急ポスターの部

【最優秀賞】

山崎北小学校 中谷 侑愛



【優秀賞】

池田小学校 増谷 遥
長田小学校 渡辺 郁織
西貴志小学校 西川 小雪

地震防災標語の部

【最優秀賞】

岩出市 永井 信佑

明日へと
希望をつなぐ
防災訓練

【優秀賞】

紀の川市 吉岡 延郎
紀の川市 脇田 洋子
紀の川市 前杉 陽子

防災ひとづくり事業にご協力ありがとうございます!

写生画・ポスター・標語・意見発表の公募事業にたくさんのご応募いただきありがとうございました。なお、来年度も市民の方々に参加いただく防災ひとづくり事業を実施する予定ですので、ご協力をよろしくお願いします。



Q 消防プレゼントクイズ

本誌を読んでカッコに当てはまる言葉と、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見、ご感想を官製はがきにご記入の上、左記へお送りください。正解者の中から抽選により20名様に景品を差しあげます。

問題

那賀消防管内では、平成25年中の火災件数は27件ですが全国火災原因で最も多いのは()である。

● 応募先

〒649-6215 岩出市中迫154番地

那賀消防組合(防災センター)

● 応募締め切り

平成27年1月31日当日消印有効

発表は景品の発送をもって、かえさせていただきます。

※ご応募いただいた内容については那賀消防組合で適切に管理し、第三者に開示することは致しません。



那賀消防組合消防出初式

★とき 平成27年1月12日(月)

午後1時30分から(予定)

★ところ 岩出市宮

大宮緑地総合運動公園

岩出橋北詰から西進

出初式では救助訓練披露や一斉放水、各種展示体験コーナー、幼年消防クラブによる防火演技を予定していますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。



※災害情報テレホンサービス
0736(61)1889

編集・発行

那賀消防組合消防本部 〒649-6215 岩出市中迫154番地
0736(61)0119 FAX0736(61)0819
ホームページアドレス http://www.naga119.jp/